

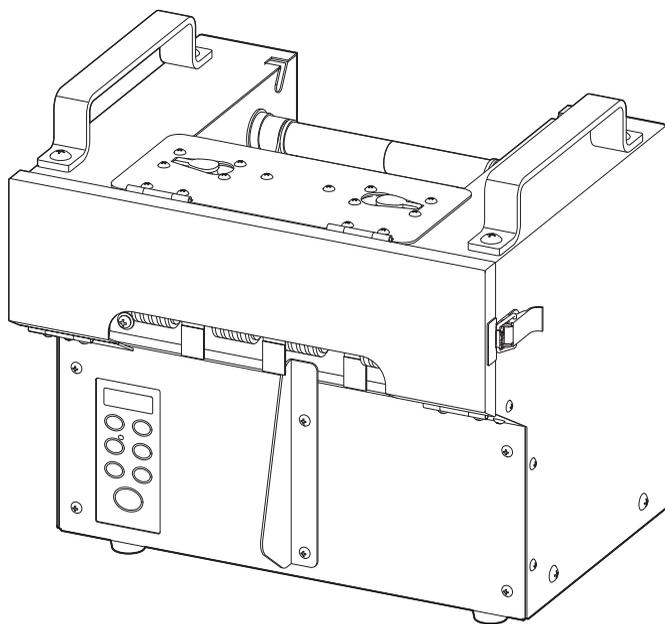
*Yaesu*

AUTO FILM DISPENSER

FD-160 III

FD-200 III

取扱説明書



---

## はじめにお読みください

---

この度はフィルムディスペンサーFDシリーズをお買い上げいただき、ありがとうございます。本機は、FD-160、200の基本性能を継承しつつ、新たな機能の追加や耐久性向上などの改良をしました。

本機を正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は、すぐ取り出せる所に保管し、必要に応じてご利用ください。

なお、本機に同梱の保証書は修理の際に必要となりますので記載事項をご確認のうえ大切に保管してください。

---

## 目次

---

- P2     はじめにお読みください
  - P3     安全上のご注意 / 記号表示について
  - P4     警告 / 注意
  - P5-6   本体各部名称
  - P7-8   フィルムセット
  - P9     カット長の設定
  - P9-10  モード設定
  - P11    メモ機能
  - P11    カット枚数表示をゼロにする
  - P11    お手入れ
  - P11    ブレーキローラーのトルク調整 (FD-160Ⅲ)
  - P12    ボビンセット (FD-200Ⅲ)
  - P12    ボビンのトルク調整 (FD-200Ⅲ)
  - P13    故障診断
  - P14    保証とアフターサービス
  - P14    修理を依頼されるときは
  - P14    仕様
-

---

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。

いずれもおお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

---

### 記号表示について

この取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注意を示します。

記号の中に具体的な内容が描かれているものがあります。



禁止行為を示します。

記号の中に具体的な内容が描かれているものがあります。



行為を強制したり指示したりすることを示しています。

記号の中に具体的な内容が描かれているものがあります。

---

## 警告

---

-  濡れた手で電源プラグの抜き差し、又は本機の操作をしないでください。  
感電の原因になります。
-  回転部分に毛髪などを巻き込まれないように注意してください。  
思わぬケガの原因になります。
-  本機は業務用機械です。取り扱い方法を熟知しない人や、特に子供が興味本位に  
触れないよう、十分気をつけてください。  
思わぬケガの原因になります。
-  お手入れ、点検の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
思わぬケガの原因になります。
-  本機はフィルムの切断以外の目的に使用しないでください。  
思わぬケガや故障の原因になります。

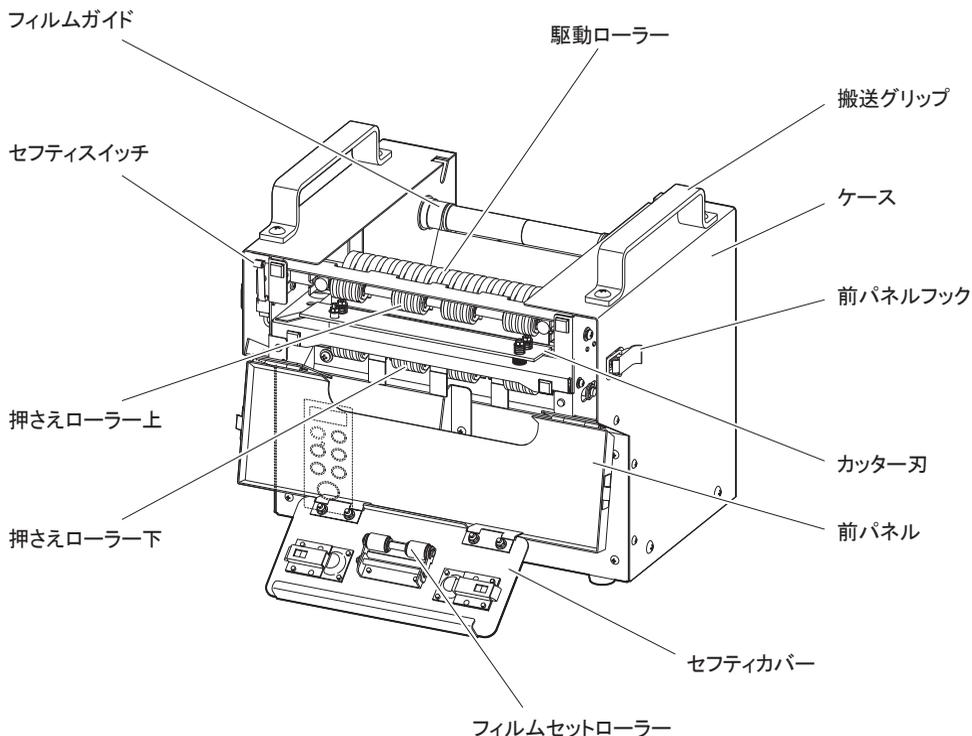
---

## 注意

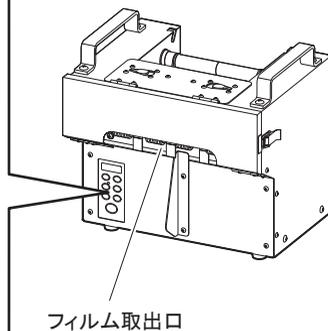
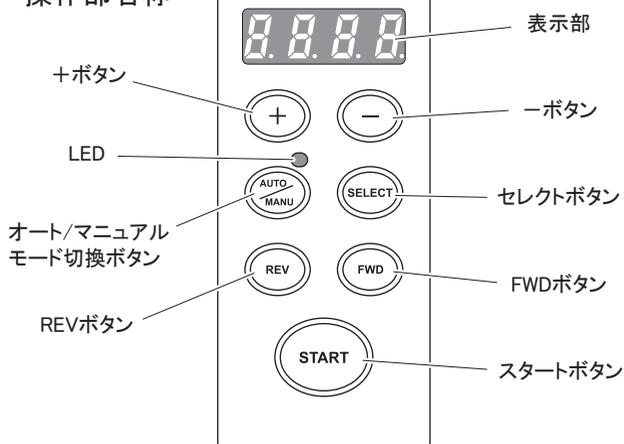
---

-  本機を濡らしたり、水のかかる場所に設置しないでください。  
感電や故障の原因になることがあります。
-  本機の改造、分解は絶対にしないでください。  
思わぬケガや故障の原因になります。
-  電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。  
コードを引っ張ると、断線によるショートや感電の原因になります。
-  フィルム出口の中に異物を絶対に差し込まないでください。  
故障の原因になることがあります。
-  本機を使用している間は、必ず作業者がそばに付いてください。また機械を離れる  
時は電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
思わぬケガの原因になります。
-  電源コードを破損するようなことはしないでください。  
傷つけ、改造、引っ張り、重いものを乗せる、挟み込む、など電源コードが破損し、  
感電、ショート、発火の原因になります。
-  電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。  
差し込みが不完全の場合、接触不良による発熱、火災の原因になります。
-  極端に温度や湿度の高い場所やホコリの多い場所での使用は避けてください。  
故障の原因になります。
-  安定した水平の場所に設置してください。  
ぐらついた台の上などに置くと、製品が落下してケガや故障の原因となることがあ  
ります。
-  本機の使用が終了したら、必ずフィルムを外してください。  
フィルムの張り付き等による巻き込み故障の原因になります。

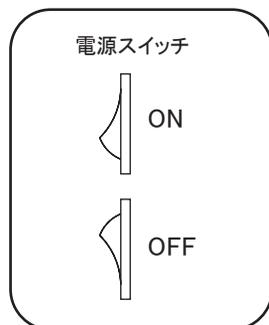
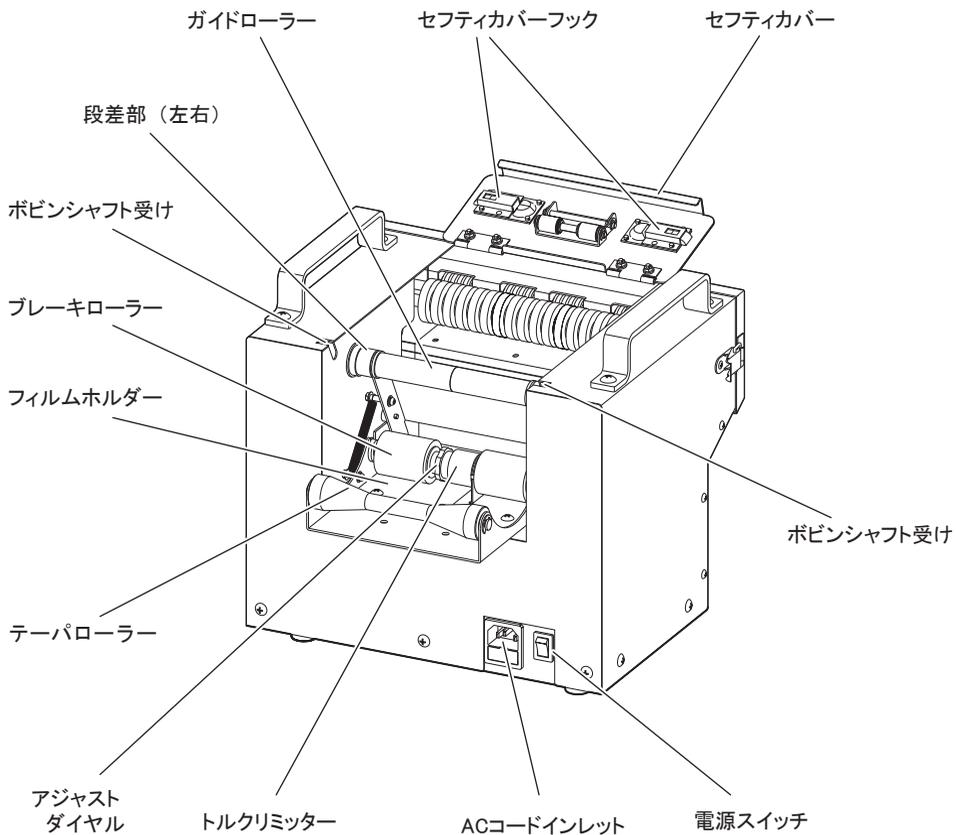
# 本体各部名称



## 操作部名称



# 本体各部名称



ご注意) FD-200Ⅲは、ボビン仕様となります。

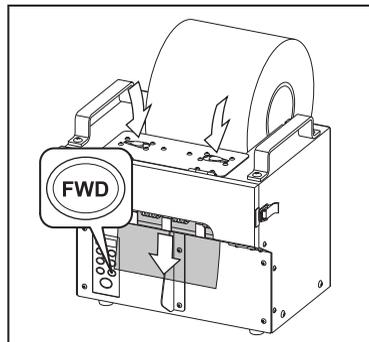
## フィルムセット

- 本機に付属のACコードを、本体後ろ側のACコードインレットに確実に差し込みます。
- アース線をアースターミナルに接続します。
- 電源スイッチがOFFの位置になっている事を確認した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 電源スイッチをONにします。
  - ・電源スイッチをONにすると、操作パネル表示部にA～Fいずれかのアルファベットと3桁までの数字(カット長さ)が表示されます。(前回使用した状態)
  - ・電源スイッチをONにした時は、マニュアルモード設定となっています。
- フィルムホルダーにフィルムをセットします。
  - ・フィルムが上から引き出される向きでフィルムをセットします。この時、ガイドローラーの段差部、テーパーローラー等を目安にフィルムホルダー中央にセットします。(FD-200Ⅲは、ポピンをフィルムロール紙管に通し、本体にセットします。P-12参照)
- セフティカバーフックを起し、セフティカバーを開けます。
- フィルムをフィルムガイド前端まで引き出して、フィルムガイドの上に置きます。
  - ・この時、下図のようにフィルムを少したるませます。
- セフティカバーフックを静かに閉め、セフティカバーを元に戻します。
- FWDボタンを押してフィルムを送ります。
  - ・フィルム取出口からフィルムが出ている事を確認します。
  - ・フィルムが斜めになっている時は、真直ぐになるまでFWDボタンを押してフィルムを送ります。
  - ・FWDボタンは、ボタンを押している間だけ作動します。
- フィルムにたるみがない事を確認します。
- スタートボタンを押します。
  - ・FWDボタンを操作した後にスタートボタンを押した場合のみ、スタートボタンを押すと同時にカッター刃が作動し、フィルムをカットします。
  - ・カットされたフィルムを取り除いてください。
- フィルムを取り外す時は、以下の要領で作業を行ってください。
  - ・セフティカバーフックを起こして、セフティカバーを開けます。
  - ・REVボタンを押してフィルムを駆動ローラーから引き出します。
  - ・フィルム前端が駆動ローラーと押さえローラーから外れたら、REVボタンから指を離して停止します。

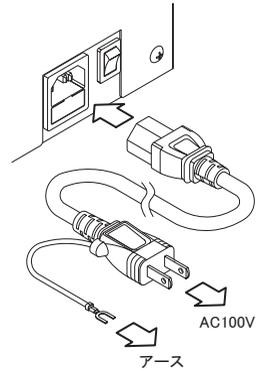
フィルムをセットする



セット状態を確認する

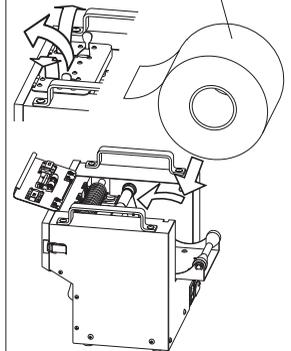


電源コード、アースの接続



フィルムをフィルムホルダーに乗せる

セフティカバーを開ける



フィルムを切る



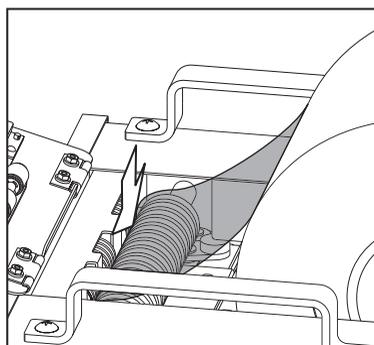
フィルムを抜き取る

## フィルムセット

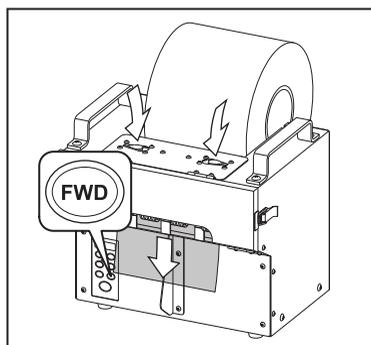
☆6ページの方法でフィルムセットがうまく出来ない時は、以下の方法でセットしてください。

- セフティカバーフックを起し、セフティカバーを開けます。
- フィルムを駆動ローラーと押さえローラー上に差し込む要領で保持し、FWDボタンを押してフィルムを送ります。(電源スイッチをOFFにすると駆動ローラーを手動で回転させる事ができます)
- ・FWDボタンを押す時、最初は短時間押しして、駆動ローラーと押さえローラーの間にフィルムを挟み込みます。その後、FWDボタンを押し続けてフィルムを送ります。
- ・フィルム取出口からフィルムが出ている事を確認します。
- ・フィルムが斜めになっている時は、真直ぐになるまでFWDボタンを押してフィルムを送ります。
- ・FWDボタンは、ボタンを押している間だけ作動します。
- セフティカバーを閉め、セフティカバーフックを元に戻します。
- フィルムにたるみがない事を確認します。
- スタートボタンを押します。
- ・FWDボタンを操作した後にスタートボタンを押した場合のみ、スタートボタンを押すと同時にカッター刃が作動し、フィルムをカットします。
- ・カットされたフィルムを取り除いてください。

フィルムをセットする



セット状態を確認する



フィルムを切る



フィルムを抜き取る



フィルムをセットする時は、フィルムや本機に異物が付着していない事を確認してください。  
異物が付着したままフィルムを送ると故障の原因になります。

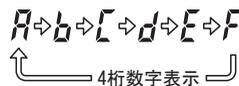
## カット長の設定

- 表示部がカット長表示になっている事を確認します。
- ・A～Fのアルファベットとカット長を示す数字が表示されている時、及び4桁の数字が表示されている時はカット長表示となります。
- ・カット長表示以外の場合は、セレクトボタンを長押ししてカット長表示にします。(bとdは小文字で表示されます)
- カット長をセットします。
- ・セットAボタンまたはセットBボタンを押してカット長をセットします。
- ・本機は7種類のカット長を設定できます。
- ・必要に応じてA～F、及び4桁のカット長表示をセレクトボタンを押して選択し、カット長をセットします。  
(カット長はAからFが20mm～999mmの範囲で、4桁数字表示の時は20mm～9999mmの範囲でセットできます。)
- ・セットAボタン、セットBボタンは短く押すと1mmずつ表示が変わり、長押しすると早送りになります。
- セットした数値は約3秒後、自動的に記憶されます。
- セット直後に電源スイッチを切ると、セットした数値が記憶されません。

カット長表示を確認



A～F及び4桁数字表示



カット長をセット



## モード設定

本機は使用状況に応じて使い方の設定ができます。  
以下のモード設定を有効にご利用ください。

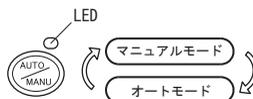
### マニュアルモード(LED消灯)

- LEDが消灯状態になっている事を確認します。
- ・本機は電源スイッチをONにすると、マニュアルモードで起動します。
- スタートボタンを押す毎に1枚ずつフィルムを送り出してカットし、待機します。

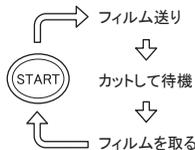
### オートモード(LED点灯)

- LEDが点灯状態になっている事を確認します。
- ・LEDが消灯している時は、オート/マニュアル切換ボタンを押してLEDを点灯状態にします。
- スタートボタンを押してフィルムを送り、カットします。
- ・フィルム取出口で待機しているフィルムを取ると、自動的に次のフィルムを送り出してカットし、待機します。

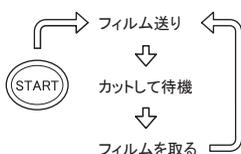
### オート/マニュアル切換操作



マニュアルモード ● 消灯



オートモード ☀ 点灯



## Pモード（プリセットモード）

予めカットする枚数をセットしておき、所定の枚数を切り終わるとブザーが鳴ってお知らせします。

このモードは、マニュアル/オートどちらのモードでも使用できます。

このモードは、999枚まで設定できます。

- セレクトボタンを押してA～F、及び4桁数字に設定した必要カット長を選びます。
- セレクトボタンを長押ししてLcon表示にします。
- もう一度セレクトボタンを短く押してプリセットモードにします。
- ・この時、Pと3桁までの数字を表示します。
- +または-ボタンを押して必要カット数を設定します。
- オート/マニュアルモード切替ボタンを押してオート、マニュアルどちらかのモードを選択します。
- スタートボタンを押すとフィルムを送り出してカットし待機します。
- ・マニュアルモードの時は、フィルムを取った後スタートボタンを押して次のフィルムを送り出してください。
- ・オートモードの時は、フィルムを取ると自動的に次のフィルムを送り出してカットし待機します。
- フィルムを送り出してカットする毎にカウントダウン表示します。
- 表示が0になるとブザーが鳴ります。
- ・ブザーが鳴り終わると設定カット数表示になります。
- ・作業途中でオートモード⇄マニュアルモード変更の時は、オート/マニュアルモード切替ボタンを押してください。
- ・オートモード時、ブザーが鳴っている時にフィルムを抜き取ると、ブザーが鳴り終わると同時にフィルムを送ってカットし、待機します。
- その時、設定枚数-1を表示します。

## Lモード（ループモード）

予めカットする枚数をセットしておき、スタートボタンを押すと所定のカット枚数を切り終わるまで停止する事なく連続動作します。

このモードは、999枚まで設定できます。

- セレクトボタンを押してA～F、及び4桁数字に設定した必要カット長を選びます。
- セレクトボタンを長押ししてLcon表示にします。
- +または-ボタンを押して必要カット数を設定します。
- スタートボタンを押すとカウントダウン表示しながら連続カットします。
- ・表示が0になるとブザーが鳴って停止します。
- ・ブザーが鳴り終わると設定カット数表示になります。
- ・途中で一時停止したい時はスタートボタンを押してください。もう一度スタートボタンを押すと動作を開始します。

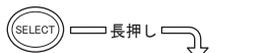
## Pモード操作

カット長設定を確認



設定例：A 100mm

A～F及び4桁数字表示



設定例：100枚



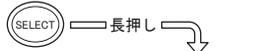
## Lモード操作

カット長設定を確認



設定例：A 100mm

A～F及び4桁数字表示



設定例：100枚



## メモ機能

オート/マニュアルモードで作業中に、現在のカット枚数を憶えておく機能です。

- オート/マニュアルボタンを長押しして、枚数表示(4桁まで表示)にします。
- +ボタンを押します。
  - ・現在の枚数データがメモリーに転送されます。
  - ・電源スイッチをOFFにしても転送されたデータは消去されません。
- オート/マニュアルボタンを長押しすると、カット長表示に戻ります。

枚数表示にする



## カット枚数表示をゼロにする

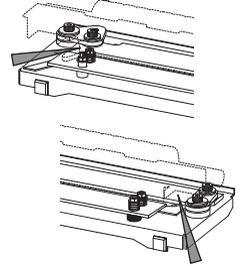
- オート/マニュアルボタンを長押しして、枚数表示(4桁まで表示)にします。
- ボタンを押すと、枚数表示がゼロ(リセット)になります。
- オート/マニュアルボタンを長押しすると、カット長表示に戻ります。

枚数表示にする



## お手入れ

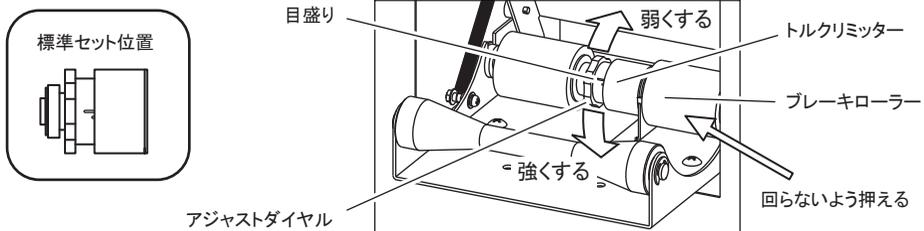
- 本体は中性洗剤を適量入れた水に浸して固く絞った清潔な布等で清掃します。
- フィルムが通過する場所は、常に清潔にしてください。
  - ・フィルムガイド及びカッター刃周辺にフィルムの切り屑や異物の付着がないか点検、及び清掃します。
- カッター刃の交換は原則としてメーカーにて交換します。
  - ・お客様ご自身で本機を分解する事は絶対にしていただき、お客様が分解された機械について、修理・部品交換をお断りする場合があります。
- 右図に示した上下カッター刃が重なる刃面に、綿棒等を使用して食品機器潤滑剤を少量塗布します。



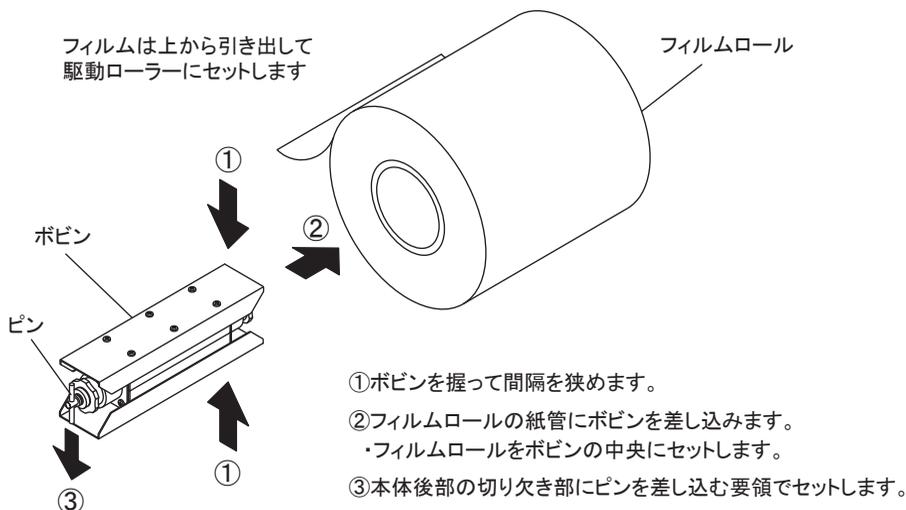
## ブレーキローラーのトルク調整 (FD-160Ⅲ)

本機には、フィルムの走行を安定させるためブレーキローラーにトルクリミッターが付いています。出荷時に調整してありますが、使用条件によって再調整を必要とする場合があります。

- トルクリミッターの効きが弱い時、フィルムのたるみ過大による蛇行、フィルム詰まりの原因となります。
  - ・ブレーキローラーを押さえ、アジャストダイヤルを図の方向に回して強くなるよう調整します。
- トルクリミッターの効きが強い時、フィルムの送り長さが短くなる、フィルム送り不良の原因となります。
  - ・トルクリミッターの効きが弱い時と反対方向にアジャストダイヤルを回して弱くなるよう調整します。
- トルク調整の際は予め目盛り位置を覚えておき、アジャストダイヤルを1/4回転ずつ回して調整してください。



## ボビンセット (FD-200Ⅲ)



## ボビンのトルク調整 (FD-200Ⅲ)

FD-200Ⅱ標準仕様に付属のボビンにはフィルムの走行を安定させるため2個のトルクリミッターが付いています。出荷時に調整してありますが、使用条件によっては再調整が必要となる場合があります。フィルム送りに支障がある、フィルムが詰まるなどのトラブルが発生した時に調整してください。

■トルクリミッターの効きが弱い時、フィルムのたるみ過大による蛇行、フィルム詰まりの原因となります。

・ボビンシャフトを押さえ、調整ダイヤルを図の方向に回して強くなるよう調整します。

■トルクリミッターの効きが強い時、フィルム送り長さが短くなる、フィルム送り不良の原因となります。

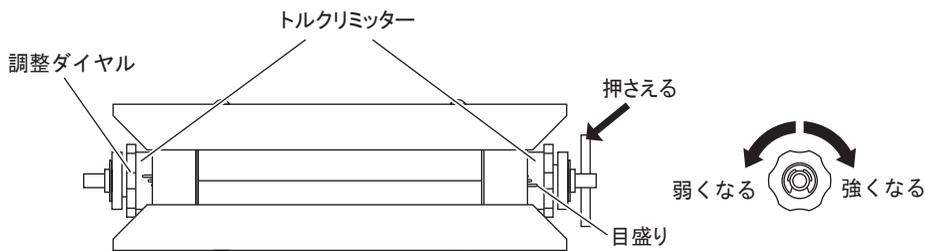
・トルクリミッターの効きが弱い時と反対方向に調整ダイヤルを回して弱くなるよう調整します。

■トルク調整の際は予め目盛り位置を覚えておき、調整ダイヤルを1/4回転ずつ回して調整してください。

・左右のトルクリミッターの目盛が同じになるよう調整します。

・目盛が完全に見えなくなるまで調整ダイヤルを閉め込まないでください。

■フィルムを新しくセットした時は、送りローラーが停止してもボビンがすぐに停止しないオーバーラン現象によって、フィルムに多少たるみが出ますが、本機が支障なく動作している限り、トルクリミッターを調整する必要はありません。



## 故障診断

### ＜エラー表示について＞

本機を使用中にブザーが鳴って停止した場合、以下のエラーメッセージを表示します。  
その場合は、エラーの原因を取り除いた後通常の手順に従って再度フィルムをセットし直してください。

#### E-02 カッター刃位置エラー

フィルムや異物が挟まった時など、カッター刃が動作の途中で止まってしまった時に表示されます。

- ・電源スイッチをOFFにします。
- ・前パネルフック、セフティカバーフックを解除し前パネル、セフティカバーを開けてカッター刃や駆動ローラー周辺を点検します。
- ・フィルムや異物が挟まっている場合は、カッター刃に注意しながら取り除きます。
- ・前パネル、セフティカバーを閉めフックにて固定します。
- ・電源スイッチをONにします。
- ・スタートボタンを押すとブザーが鳴ってE-02表示が出ます。もう一度、スタートボタンを押すとカッター刃が待機位置に移動します。
- ・通常の手順に従ってフィルムをセットし直してください。

E-02

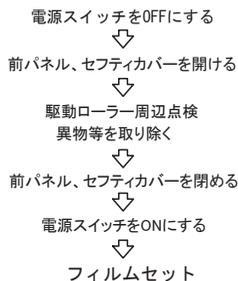


#### E-03 フィルム送りモーター停止

フィルムを送っている時、モーターに過負荷がかかって停止した場合に表示されます。

- ・電源スイッチをOFFにします。
- ・前パネル、セフティカバーを開けます。
- ・駆動ローラー、押さえローラー周辺に異物等が挟まっていないかよく点検します。
- ・異物等が挟まっている時は、本体機構部を傷つけないよう注意して取り除きます。
- ・前パネル、セフティカバーを閉めます。
- ・電源スイッチをONにします。
- ・スタートボタンを押して、正常動作する事を確認します。
- ・通常の手順に従ってフィルムをセットし直してください。

E-03



エラーの原因を取り除く際、カッター刃には絶対に触れないようご注意ください。



上記エラーの原因を取り除いても再度エラー表示が出て停止する、又はエラーメッセージが表示されない状態で本機に異常が発生した場合は、速やかに電源スイッチをOFFにし、使用を中止してください。

## 保証とアフターサービス

### 保証書

この製品には保証書を添付しております。  
内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

保証期間はご購入の日から6ヶ月間です。  
一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。

### 修理に関するご相談及びご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、当社にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

「故障診断」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、当社にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、当社にて修理をさせていただきます。  
修理に際しましては保証書をご提示ください。

### 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理の時に必要な情報

トラブルの状況をできるだけ詳しく書いたメモを修理品と一緒にお送りください。

## 仕様

	FD-160Ⅲ	FD-200Ⅲ
電源	AC100 V 50/60Hz	
入力電圧範囲	±5 %	
消費電力	25 W	45 W
寸法(突起部含まず)	292 W x 273 H x 232 D mm	332 W x 273 H x 232 D mm
重量	10.6 kg (フィルムホルダー仕様)	11.1 kg (ポビン仕様)
切断可能フィルム幅	160 mm (最大)	200 mm (最大)
切断可能送り長さ	20~9999 mm	
フィルム送り速度	270 mm/秒 (100mm長カット時65枚/分)	
最大フィルム外径	Φ210	
付属品	電源コード 1.5Aヒューズ (ACインレット内蔵) ポビン (FD-200Ⅲ)	

◆本製品は、改良のため予告なしに仕様変更する場合があります。予めご了承ください。





ヤエス軽工業株式会社

〒120-0041 東京都足立区千住元町39-8

TEL: (03)3888-8751

FAX: (03)3888-1592

<http://www.yaesu1965.com>